牛 肉 情 勢

7月11日 更新　JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容
供給	1.国産	○ 5月の成牛と畜頭数は、84.7千頭と前年並み(前年比101.2%)。 内訳を見ると、和牛:38.3千頭(前年比102.7%)、交雑牛:20.5千頭(同104.3%)、乳牛去勢:11.1千頭(同92.4%)となった。 ○ 6月の成牛と畜頭数は、速報値(6月30日まで集計)で86.3千頭と前年並みとなった(前年比99.1%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月28日公表)によると、6月、7月の出荷頭数は、ともに全品種での増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。 (6月90.8千頭(前年比103.7%)、7月97.1千頭(同102.7%)) そのため、3か月平均(5月～7月)でも、出荷頭数92.1千頭(前年比103.7%)、生産量29.4千㌧(同104.4%)と前年を上回る予測となっている。
	2.輸入	○ 5月の輸入通関実績は、全体で46.4千㌧と前年並み(前年比101.4%、前月比68.3%)、内訳ではチルド;16.1千トン(前年比78.5%、前月比76.3%)、 フローズン;30.3千㌧(前年比120.0%、前月比64.7%)となった。輸入相手国別では、チルドは米国と豪州が減少した。 一方、フローズンは、米国からのショートプレートが依然好調なため伸長した。豪州やカナダも前年を上回ったが、その他の国からの輸入が減少した。 (参考:形態別相手国別輸入数量) チルド　　:米国8.4千㌧(前年比87.9%)、豪州6.3千㌧(同72.7%)、カナダ0.7千㌧(同111.1%)、ニュージーランド0.3千㌧(同59.4%)、メキシコ0.2千㌧(同32.3%) フローズン :豪州12.5千㌧(同128.9%)、米国10.5千㌧(同151.0%)、カナダ3.2千㌧(同113.1%)、ニュージーランド1.8千㌧(同90.5%)、メキシコ1.7千㌧(同66.6%) ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、需要の低迷や米国産の現地価格の高騰等により減少し、6月、7月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンは、 国内の輸入品在庫量が多い事や円安の影響等により、6月、7月ともに前年を下回ると見込んでいる。3か月平均では、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和5年6月　合計;44.4千㌧(前年比77.0%)、チルド;17.3千㌧(同75.8%)、フローズン;27.1千㌧(同77.8%) 令和5年7月　合計;45.8千㌧(前年比88.1%)、チルド;18.1千㌧(同92.8%)、フローズン;27.7千㌧(同85.4%) 直近3か月(5月～7月)平均 合計;45.4千㌧(前年比87.6%)、チルド;17.4千㌧(同83.1%)、フローズン;28.0千㌧(同90.8%)
需要	1.家計消費 2.小売動向 5月概況	○ 総務省発表の5月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は518g(前年比99.0%)、支出金額が1,833円(同96.3%)となり、 購入量、支出金額ともに前年を下回った。(※2019年度同月比:購入量 92.5%、金額 103.2%) ○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の5月の販売統計速報によると、畜産部門の売上高は1,191.5億円(前年比104.8%、既存店ベース103.2%)と前年を上回った。 相場高が続いているが、豚肉や鶏肉では安価な部位を中心に好調となった。牛肉はGWもあり、焼肉用の動きは良かったが、和牛など高単価商品の動きが鈍い。豚肉は国産にも回復傾向が見られたが、 輸入品の動きがよい。鶏肉も高値が続いているが好調。加工肉を含め、低価格商品に需要がシフトしており、売上高は確保できても利益が出にくい状況が続いている。
	3.外食 5月概況	○ 日本チェーンストア協会が公表した5月販売概況によると、畜産品の売上は923.0億円(店舗調整後で前年比103.7%)となり、前年を上回った。 豚肉、鶏肉の動きは良かったが、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵、ハム・ソーセージの動きは良かった。 ○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査5月度結果報告によると、コロナにより行動制限がなくなり、GW後半から店内飲食の好調が続いた。帰省客、国内観光客、インバウンドともに 消費が旺盛で、全体売上は前年比111.8%、2019年比では107.6%と好調であった。しかし、各種コストの上昇と人手不足による時短営業などが経営上のマイナス要因となり、厳しい状況が続いている。 業態別; ①ファーストフード　前年比110.4%、2019年度比120.5%　客単価増で売上は堅調を維持した。ビルや商業施設内立地店舗の集客や都心部のインバウンド需要が好調だった ②ファミリーレストラン　前年比112.0%、2019年度比 97.8%　GWの好調に続いて、5類移行後の回復が持続したことで客足は好調だったが、一部では人手不足も続いている ③ディナーレストラン　前年比114.6%、2019年度比 97.3%　入国制限撤廃後にインバウンドの回復が続き、5類移行後は団体客の宴会も少しずつ戻りはじめ、売上は好調 ④居酒屋　前年比119.9%、2019年度比 61.5%　団体等のやや大きめの宴会が戻り始め好調だったが、ビジネス街・繁華街の既存店舗の整理が進み店舗数が減少
	4.輸出	○ 5月の輸出実績は563.1㌧(前年比110.8%)と前年を上回った。台湾向け(前年比126.0%)は好調が続いているが、香港向け(前年比86.4%)は景気の悪化から減少している。 また、カンボジア向け(前年比284.7%)の好調が続いていることも大きな要因となっている。
在庫	1.在庫	○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、5月末の推定期末在庫量は160.6千㌧(前年比122.7%、前月比100.2%)と前年を上回った。 内訳は、輸入品;148.3千㌧(前年比125.4%、前月比100.3%)、国産品;12.3千㌧(同97.8%、同99.2%)となり、輸入品は前年実績を上回ったが、国産品は下回った。 なお、今後の期末在庫の推移は、6月末;161.4千㌧(同113.3%)、7月末;162.8千㌧(同108.1%)と、前年を上回って推移すると見込まれている。
枝肉相場	1.R5年6月 速報値	○ 6月の東京市場枝肉卸売価格(速報値;6月30日時点)は、和牛去勢A5が2,582円(前年比99.1%)、A4が2,196円(同92.3%)、交雑牛B3が1,470円(同97.2%)、 乳牛去勢B2が980円(同90.4%)であった。 ○ GW消費の盛り上がりの反動から6月は消費が冷え込み、輸出向けが比較的好調な和牛5等級を除いて、和牛・交雑牛・乳牛去勢問わず前年・前月ともに下回る展開となった。 一部地域で梅雨入りが早かったことや生活必需品やエネルギー等の値上げが続いていることから、生活防衛意識が更に高まったことも消費が低迷する要因となった。
	2.R5年7月 予測	○ 7月は、梅雨明けまでは需要の回復が見込みづらく、肉牛の出荷増も予想されることから、月前半は軟調な展開が見込まれる。一方で、月後半からはお盆商材の確保に向けて 需要が高まるため、月平均では和牛・交雑牛ともに前年を下回るが前月は上回る強含みの展開が見込まれる。乳牛去勢牛は、需要が低迷しており前年・前月ともに下回る弱含みの展開を見込む。 ◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込]　5月実績　6月速報値　7月予測　8月予測 ・和牛去勢 「A-5」:　2,559円 (99.0%)　2,582円 (99.1%)　2,600円 (99.6%)　2,550円 (104.1%) ・和牛去勢 「A-4」:　2,235円 (94.9%)　2,196円 (92.3%)　2,250円 (94.7%)　2,200円 (101.0%) ・交雑去勢 「B-3」:　1,505円 (93.9%)　1,470円 (97.2%)　1,500円 (97.1%)　1,450円 (97.1%) ・乳牛去勢 「B-2」:　943円 (85.0%)　980円 (90.4%)　950円 (88.8%)　950円 (108.6%)
部分肉相場	1.R5年 7月 予測	◎ 首都圏仲間価格【税抜】　【和牛:4等級】　【ホルス:2等級】　【交雑牛:3等級】 ・和牛カタセット(スネなし) : 3,000円　・ホルスカタセット(同) : 1,850円　・交雑牛カタセット(同) : 2,100円 ・和牛ロースセット(ヒレなし): 6,400円　・ホルスロースセット(同): 3,050円　・交雑牛ロースセット(同) : 4,200円 ・和牛モモセット(スネなし) : 3,700円　・ホルスモモセット(同) : 1,900円　・交雑牛モモセット(同) : 2,300円 ・和牛トモバラ : 2,100円　・ホルストモバラ : 1,150円　・交雑牛トモバラ : 1,300円

備　考

○国内生産量の推移(単位:千頭・%)

暦年	和牛計		交雑牛計		乳牛去勢計		成牛計	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
R1年	457.8	101.1	236.7	94.9	167.9	94.4	1,038.6	98.8
R2年	477.2	104.2	227.8	96.2	161.6	96.2	1,047.1	100.8
R3年	483.1	101.2	228.9	100.5	154.5	95.6	1,054.6	100.7
R4年	490.2	101.5	248.6	108.6	140.8	91.4	1,083.1	103.0
R5年　2月	36.1	107.5	19.6	110.5	10.7	93.4	82.9	106.9
R5年　3月	40.5	102.5	21.9	109.0	11.1	90.9	92.8	102.7
R5年　4月	43.3	101.0	23.7	110.9	11.2	91.9	93.2	100.9
R5年　5月	38.3	102.7	20.5	104.3	11.1	92.4	84.7	101.2

※成牛計は、乳牛雌やその他品種も含まれるため数字が一致しない

○輸入量の推移(単位:千㌧, %)

暦年	輸入数量合計		チルド数量		フローズン数量	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
R1年	615	101.3	275	98.6	340	103.6
R2年	600	97.6	262	95.1	339	99.5
R3年	585	97.4	264	100.9	321	94.7
R4年	560	95.4	217	83.0	343	104.3
R5年　1月	39.9	98.8	16.1	98.4	23.8	99.0
R5年　2月	38.0	100.6	13.3	81.1	24.7	115.5
R5年　3月	36.8	108.5	17.8	105.2	19.0	111.7
R5年　4月	67.9	110.3	21.1	102.9	46.8	114.1
R5年　5月	46.4	101.4	16.1	78.5	30.3	120.0

＊財務省:
通関実績

○総務省:家計消費量(ｸﾞﾗﾑ, 円, %)

暦年	全国1世帯当り				チルド数量	フローズン数量	合計	前年比
	数量	前年比	金額	前年比				
R1年	6,558	97.6	21,178	96.8	2,066	2,274	4,339	121.9
R2年	7,199	109.8	23,677	111.8	2,341	2,503	4,845	111.6
R3年	6,748	93.7	23,210	98.0	3,490	4,388	7,879	162.6
R4年	6,232	92.4	22,355	96.3	3,737	3,717	7,454	94.6
R5年　2月	442	96.3	1,554	98.9	314.3	326.8	641.1	139.0
R5年　3月	466	87.6	1,596	91.8	396.0	368.9	764.8	129.9
R5年　4月	485	98.2	1,758	106.3	405.0	333.4	738.3	141.1
R5年　5月	518	99.0	1,833	96.3	298.9	264.3	563.1	110.8

○輸出量の推移(単位:㌧、%)

○市況の推移: 東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-5		和牛去勢A-4		交雑牛去勢B-3		乳牛去勢B-2	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
R1年	2,732	97.3	2,408	97.4	1,626	106.7	1,016	97.8
R2年	2,459	90.0	2,103	87.3	1,398	85.9	924	91.0
R3年	2,702	109.9	2,427	115.4	1,554	111.1	1,004	108.6
R4年	2,607	96.8	2,348	96.9	1,523	98.1	1,042	102.4
R5年2月	2,511	99.0	2,190	96.8	1,370	96.1	913	91.8
R5年3月	2,578	97.5	2,255	93.8	1,441	94.2	929	87.4
R5年4月	2,616	97.3	2,328	94.0	1,508	94.3	1,079	95.4
R5年5月	2,559	99.0	2,235	94.9	1,505	93.9	943	85.0
R5年6速報値	2,582	99.1	2,196	92.3	1,470	97.2	980	90.4

農水省食肉流通統計
(速報値は農畜産業振興機構が公表する東京市場の平均枝肉価格)